

# 海上自衛隊の任務・組織・人事の概要

海上幕僚監部 人事教育部長

海将補 羽渕博行

# 次 第

- 1 海上自衛隊の任務・活動
- 2 海上自衛隊の組織編成
- 3 海上自衛隊の人事

# 海上自衛隊の任務・目標

## 自衛隊法第3条（抜粋）

主として海上において、我が国の平和と独立を守り、国の安全を保つため、我が国を防衛することを主たる任務とし、必要に応じ、公共の秩序の維持に当たり、次にあげる活動を実施すること。

- ① 我が国の平和及び安全に重要な影響を与える事態に対応して行う我が国の平和及び安全の確保に資する活動
- ② 国際連合を中心とした国際平和のための取組への寄与その他の国際協力の推進を通じて我が国を含む国際社会の平和及び安全の維持に資する活動



## 海上自衛隊戦略指針／海上自衛隊基本ドクトリン

海上自衛隊の目標	1	我が国の領域及び周辺海域の防衛
	2	海上交通の安全確保
	3	望ましい安全保障環境の創出



# 海上自衛隊の任務・目標を達成するための活動

任務・目標を達成するため、平時から有事にかけて、次の活動を重層的、同時並行的に実施

## ①環境の形成

力による一方的な現状変更を許容しない安全保障環境を創出。このため、**防衛協力・交流をはじめとする各種の活動**を通じ、常に安全保障環境を改善し続ける。

## ②平素からの抑止・対処

力による一方的な現状変更やその試みを、我が国自身の**防衛体制の強化**や、**同盟国・同志国等の連携に係る積極的な活動**を通じ、平素から事態の発生の抑止と早期の対処・事態の收拾を図る。

## ③有事への対応

我が国の平和と安全が脅かされる場合には、**同盟国等と連携しつつ、主たる責任をもって脅威を取り除く。**

### 環境の形成



親善訪問/親善訓練



国際緊急援助活動

### 平素からの抑止・対処



警戒監視活動



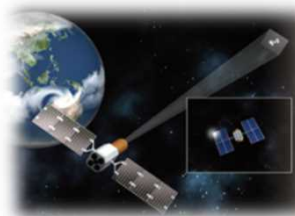
共同訓練

### 有事への対応



# 統合運用と同盟国等との共同・連携

- 陸上・海上・航空防衛力の一体的な運用、他省庁等との連携等を通じた「日本国」としての活動
- 宇宙・サイバー・電磁波領域の活用、認知領域を含む情報戦、先端技術を活用した装備の運用等、急速に変化する“戦い方”に対応
- 同盟国、同志国等との連携



自衛隊サイバー防衛隊

共同演習等



統合演習



海上保安庁との訓練等



統合防空ミサイル防衛能力の構築（イメージ）

# 我が国を取り巻く海洋の価値

## 海上交通路としての海

低コストで大量輸送が可能な船舶の交通路

## 情報経路としての海

情報や思想の伝達経路（海底ケーブル）

## 資源産出の場としての海

魚介類やエネルギー資源を産出する場

## 防壁、攻撃の経路としての海

外敵が日本を攻撃する際の経路

出典：Geoffrey Till, SEAPOWER (2013)



日本の領海等概念図

出典：海上保安庁ホームページ

# 海上自衛隊の組織編成

防衛大臣

防衛副大臣

防衛大臣政務官

海上自衛隊

統合幕僚監部

陸上自衛隊

航空自衛隊

内部部局等

海上幕僚長

海上幕僚監部

自衛艦隊

地方隊

教育航空集団／練習艦隊

各学校

補給本部

護衛艦隊

航空集団

潜水艦隊

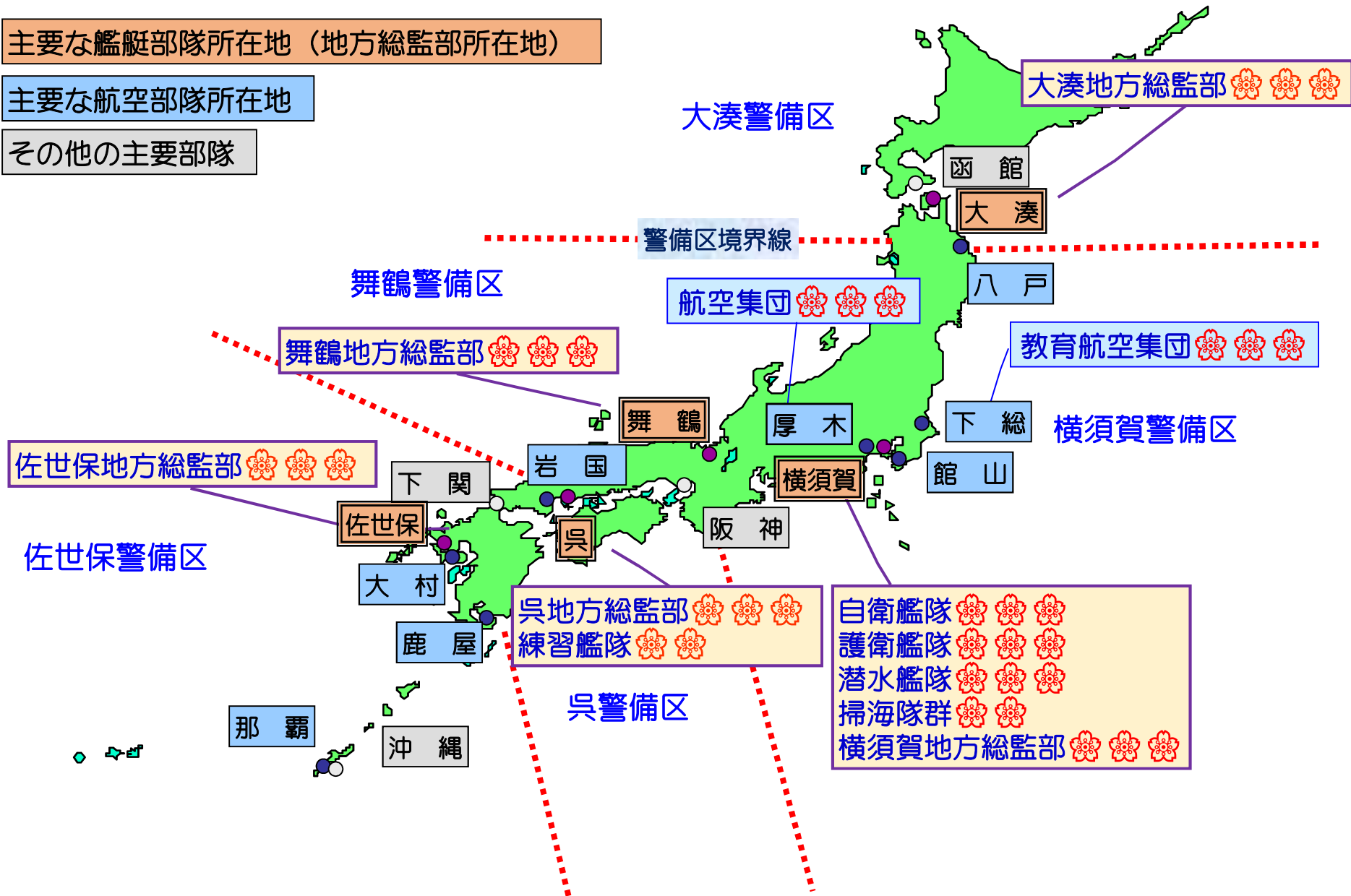


# 海上自衛隊主要部隊等所在地

主要な艦艇部隊所在地 (地方総監部所在地)

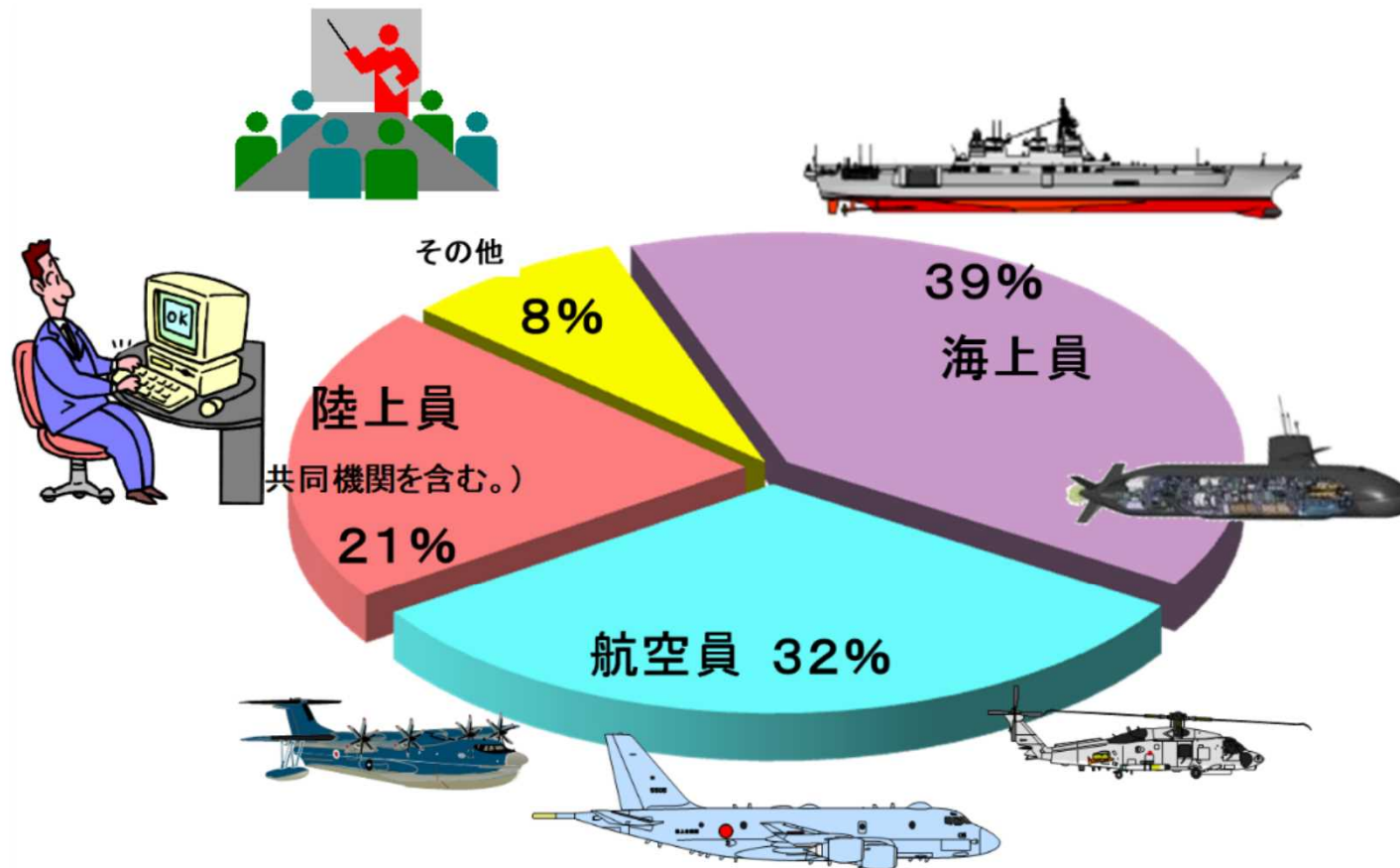
主要な航空部隊所在地

その他の主要部隊



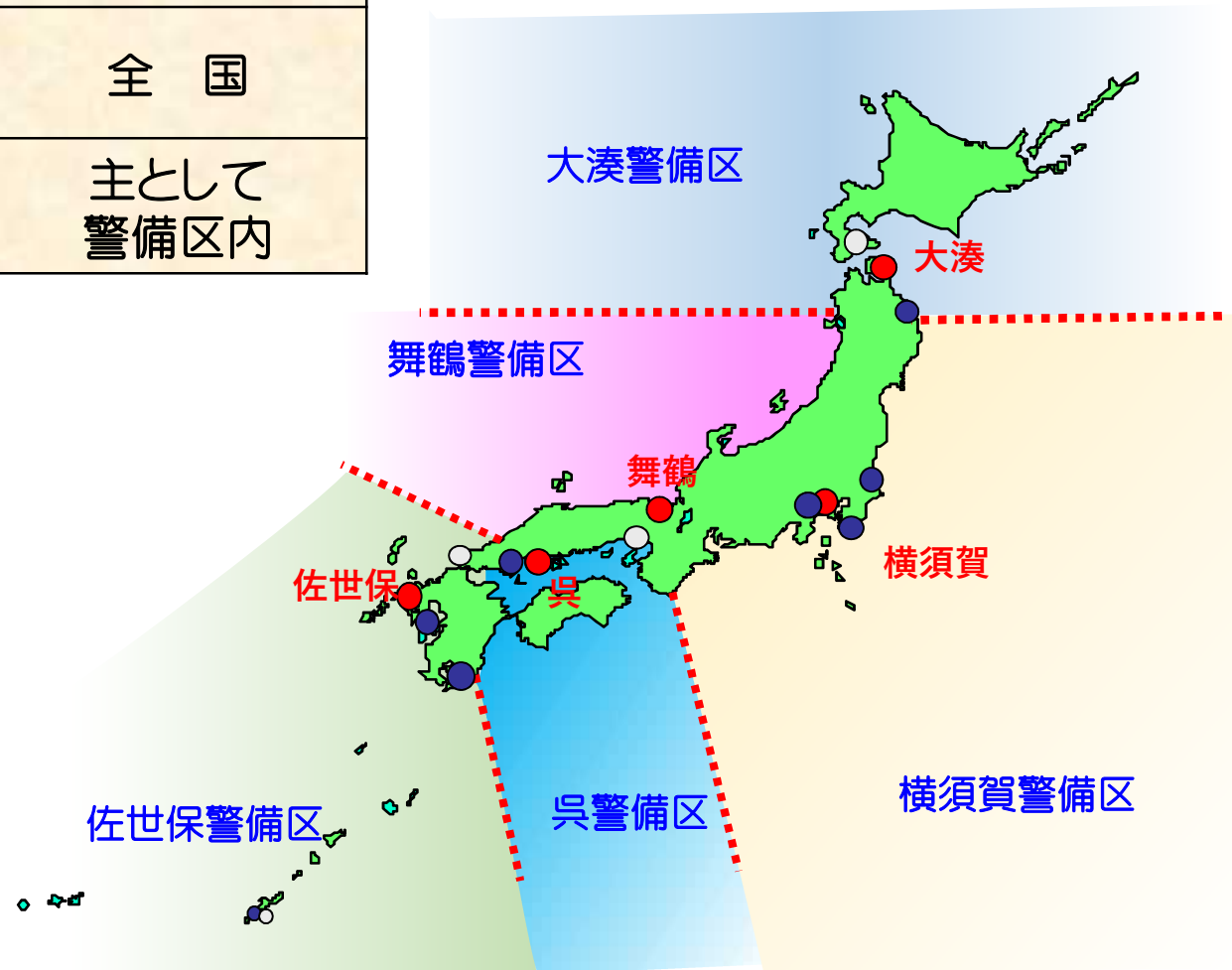
# 海上自衛隊の人事の概要

## ○ 海上自衛隊の部隊配置毎の定員構成比



# 海上自衛隊の人事の概要

	任免権者	異動範囲
幹部	海上幕僚長	全国
准曹士	地方総監	主として 警備区内



# 海上自衛隊の人材育成の概要（幹部）



初 級  
(3尉・2尉)

幹部任官～6年

- ・職域特技の幹部として必要な知識・技能の修得
- ・基礎的な管理能力の育成
- ・円満な識見の育成

幹部候補生学校

部隊等勤務

任務課程等

中 級  
(1尉・3佐)

7年～14年

- ・職域特技毎のより深い知識・技能の修得
- ・指揮・統率、企画、管理能力等の育成
- ・部隊等の業務運営に貢献

指揮官／幕僚

中級課程

指揮幕僚課程等

上 級  
(2佐～)

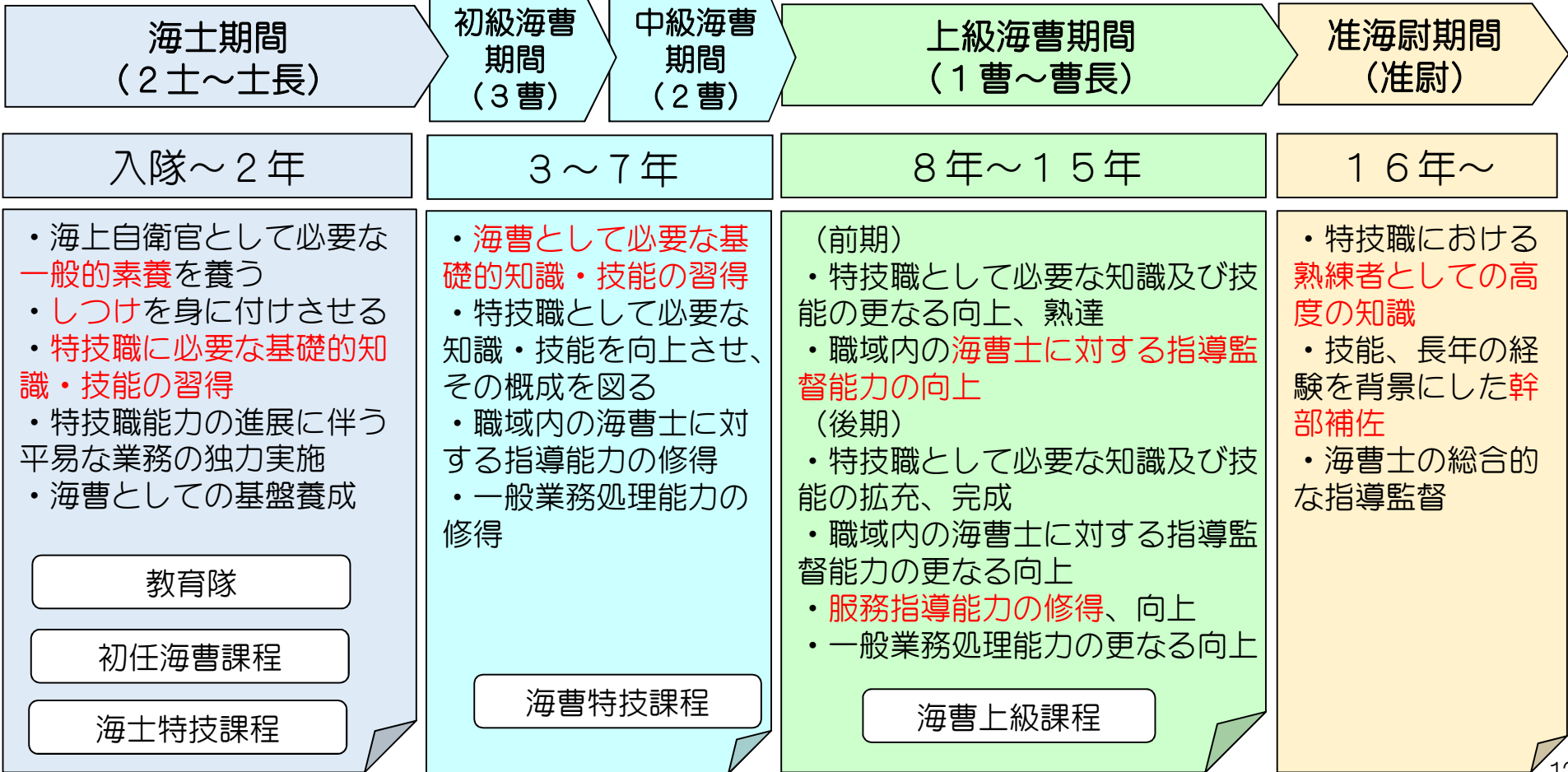
15年～

- ・指揮・統率、企画、管理能力等の更なる向上
- ・海自の任務遂行に貢献

指揮官／幕僚  
主要管理職

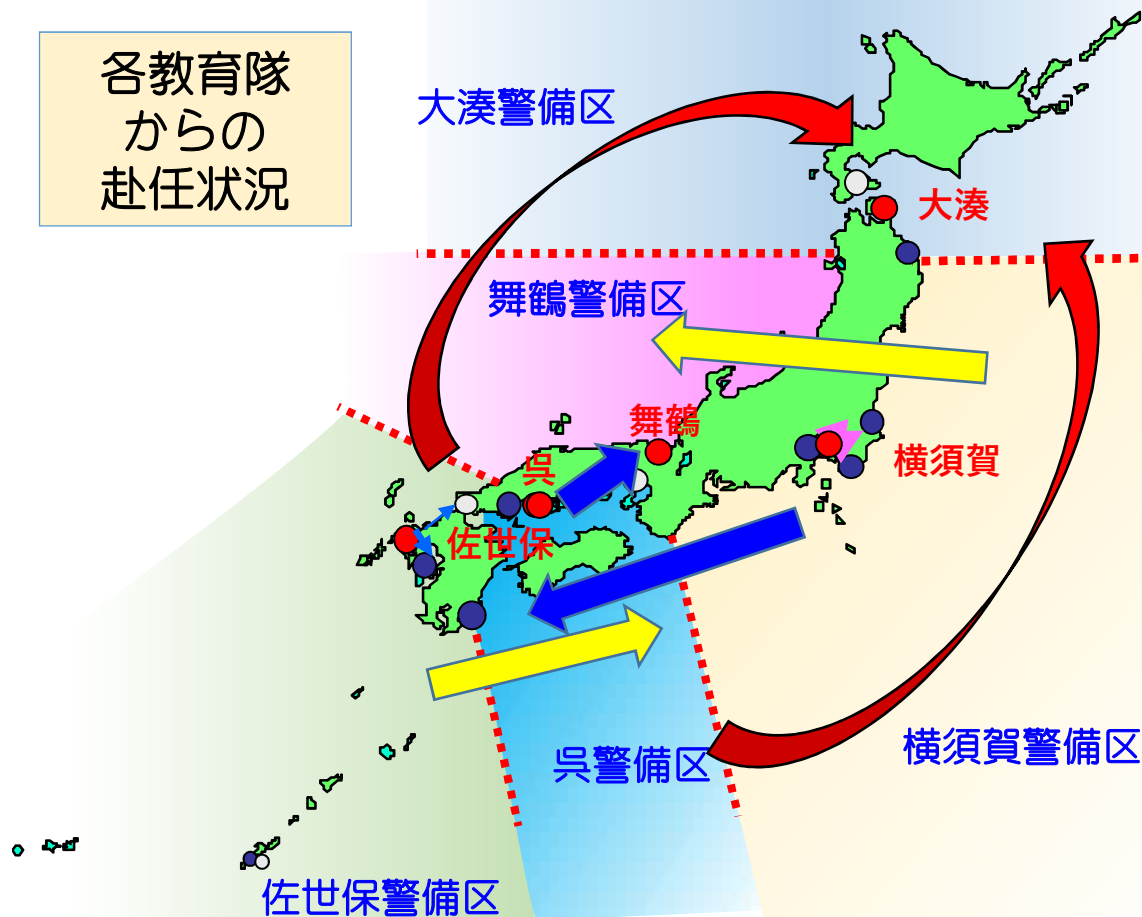
高級課程等

# 海上自衛隊の人材育成の概要（準曹士）



# 教育隊後の赴任状況

各教育隊  
からの  
赴任状況



令和6年度春 初任海士

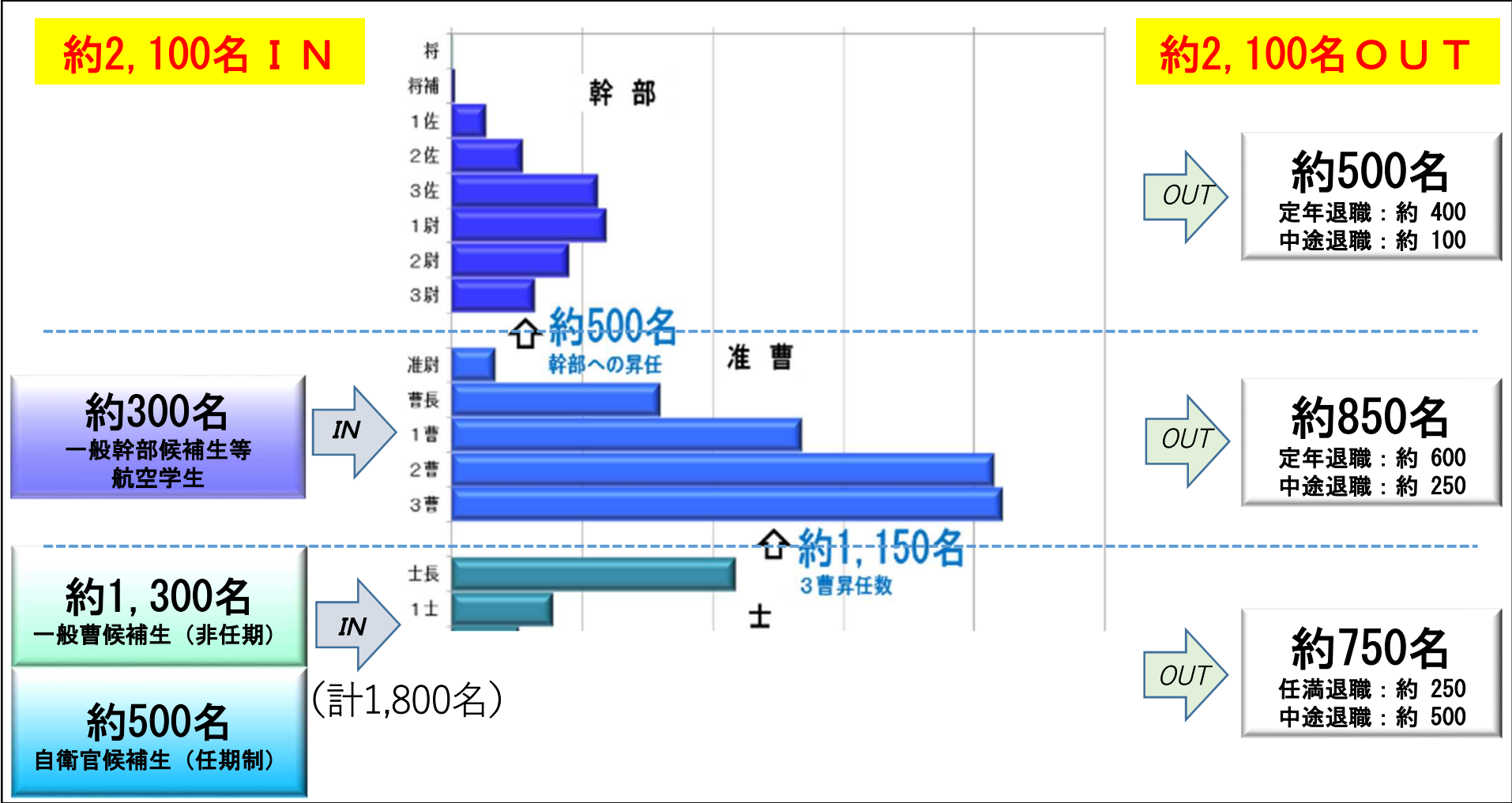
● 地方総監部・艦艇部隊	11~40人	
○ 基地隊（陸上部隊）	41~80人	
● 航空部隊	81~100人	
	101~人	

		教育隊				
		横須賀	舞鶴	呉	佐世保	
赴任先警備区	大湊	艦艇	40	21	7	6
		航空	9	20	1	1
		共通	19	1	7	0
	横須賀	艦艇	126	13	6	16
		航空	89	6	5	6
		陸上	96	7	4	0
	舞鶴	艦艇	17	25	3	2
		航空	8	5	1	0
		陸上	10	12	1	3
	呉	艦艇	73	30	67	19
		航空	11	3	16	8
		陸上	24	13	33	8
佐世保	艦艇	38	13	17	84	
	航空	26	5	6	74	
	陸上	19	6	12	43	
任免権内(%)		51	23	62	74	
任免権外(%)		49	77	38	26	

○多くの隊員が、教育隊所在警備以外へ初度赴任  
※適性による要員区分により、所要の警備区へ赴任

厳しい安全保障環境に備えるため、  
①海上自衛隊の人事の要求  
②個人の能力、適性、希望等を考慮した  
人事管理を推進

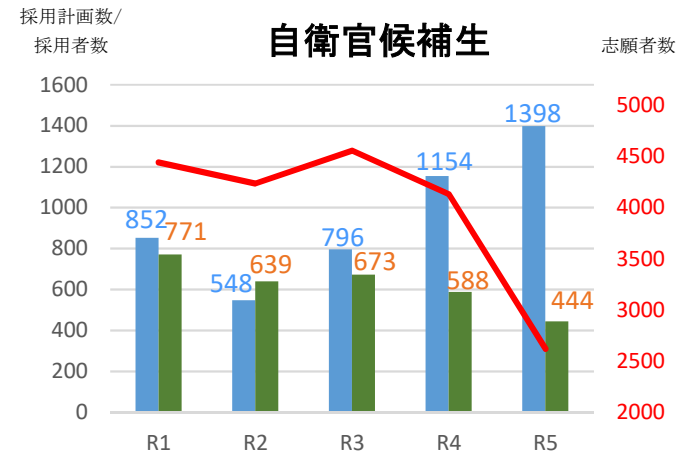
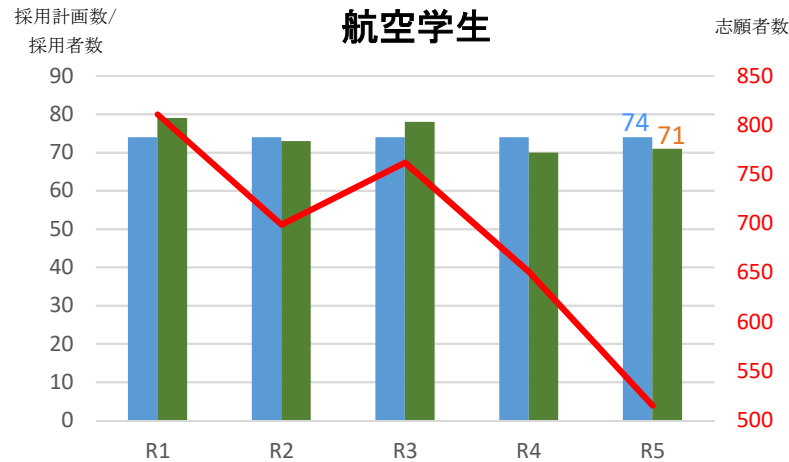
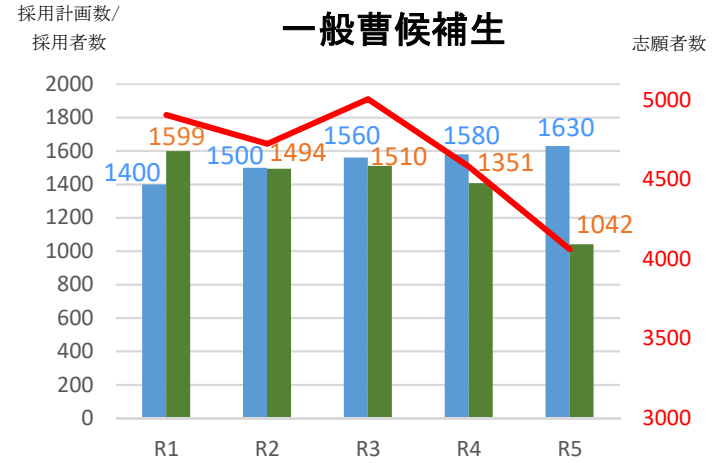
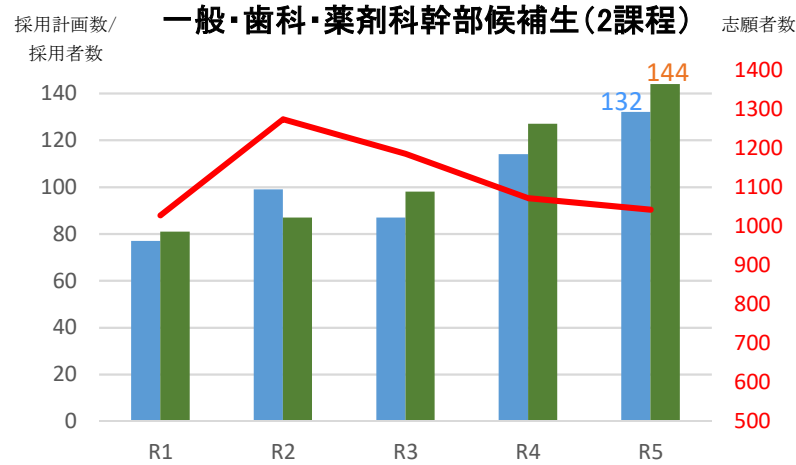
# 海上自衛隊の標準的な人員の流れ



※一般曹候補生と自衛官候補生の人数比は年度により異なる。

**毎年約2,100名が入隊し、約2,100名が退職**

# 海上自衛隊入隊者の現状

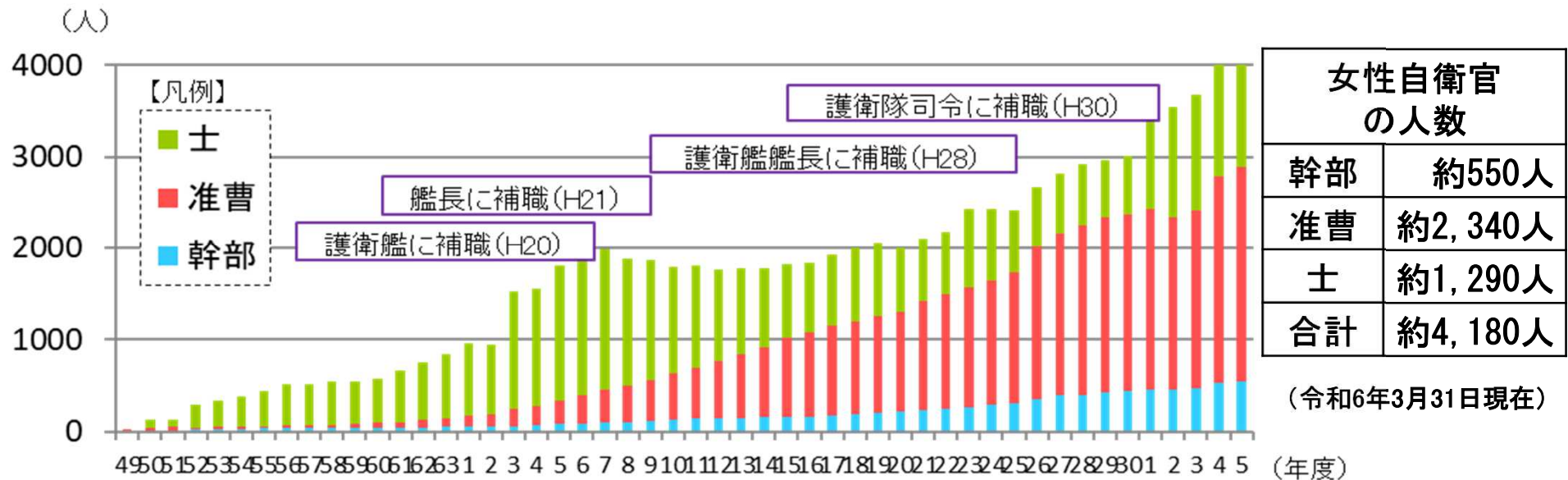


**一般曹候補生及び自衛官候補生の合計採用者数  
令和元年度2370名→令和5年度1,486名  
採用者数は約900名減少**

(凡例) 採用計画数  
採用者数  
志願者数

# 女性自衛官の採用の拡大

- 3年度以降、採用者に占める女性割合を17%以上
- 7年度までに佐官以上に占める女性割合を5%以上
- 12年度までに全自衛官に占める女性割合を12%以上



令和6年1月現在、女性自衛官の乗組み可能艦艇 62 / 109 隻

海自の女性割合は9.9%で着実に増勢 (令和6年3月時点)

# 海上自衛隊 採用広報ブランディング事業

## 1 目的

海上自衛隊の勤務に関する誤った認知（※）に対して、本当の海上自衛官を知ってもらい、特殊な人が従事する仕事ではない、就職先のひとつとしてあり得るという認知を拡大、志願者増につなげる。

（※海自に対する誤解：全員艦艇勤務、24時間365日艦にいて家に帰れない。  
採用試験に水泳・体力試験がある。自衛隊の航空機＝空自等）

## 2 事業内容

### (1) リアルイベント

「カイジョウジエイタイ展」

### (2) イメージキャラクター等展開

### (3) SNS展開（X、Instagram）

### (4) 広告配信

SNS（X及びInstagram）

まいなびニュース・まいなび学生の窓口

※初回広告の視聴回数は282万回





# 海上自衛隊の任務・組織・人事の概要

海上幕僚監部 人事教育部長

海将補 羽瀧博行